

単身赴任実費計算書

| | |
|-------|-----------|
| 学部・学科 | 外・経・人・保・短 |
| 学籍番号 | |

| | |
|------|--|
| ふりがな | |
| 学生氏名 | |

◆単身赴任実費を申請される時は下表に内訳を記入のうえこの表の裏面に領収書のコピーをホチキスで止めてください。
(領収書はコピーでも有効です)

◆領収書が小さいまたは大きい場合は、A4用紙を台紙にして貼り付けるなど見えやすいように整えてください。
A4用紙より大きくならないようご注意願います。

【注意事項】 *かならずお読みください。

①単身赴任実費計算書に必要な事項を記入の上、記入した内容に対応する領収書のコピーが添付されていない場合は、単身赴任実費給の特別控除はいっさい認められません。

②「通帳のコピーのみ」では領収書と認められません。

領収書の代わりとして通帳を提出する際は、請求書・契約書等(コピー可)も併せて添付してください。

③単なる別居(介護のために別居等)は、今回の対象となりません。

④控除の対象になるのは、「**住居・光熱・水道・家具・家事用品**」です。

食費・交通費・電話代・NHK料金・新聞代・ガソリン代・駐車場代・引越し代等は控除の対象となりません。

⑤領収書が多数に渡る場合は、A4用紙にまとめてコピーしても構いません。

| 領収書の 支払月 | 電気 | 領収書の 支払月 | ガス | 領収書の 支払月 | 水道 | 領収書の 支払月 | 単身赴任先 住居費(家賃) | 費用項目名 (食器代等) | 家具・ 家事用品 |
|-------------|----|-------------|----|-------------|----|-------------|------------------|-----------------|-------------|
| 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 費 | 円 |
| 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 費 | 円 |
| 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 費 | 円 |
| 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 月 | 円 | 費 | 円 |
| 小計 | 円 | 小計 | 円 | 小計 | 円 | 小計 | 円 | 費 | 円 |
| 年額の 計算式 | | 年額の 計算式 | | 年額の 計算式 | | 年額の 計算式 | | 費 | 円 |
| 推算した 年額 | 円 | 推算した 年額 | 円 | 推算した 年額 | 円 | 推算した 年額 | 円 | 合計額 | 円 |

○単身赴任の実費の合計 (*概算した年額を合計後に切り上げ)

| | | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|------------|
| 電気代年額 | + | ガス代年額 | + | 水道代年額 | + | 住居費年額 | + | 家具・家事用品合計額 |
| | | | | | | | | |

| | |
|---|-----------|
| = | 単身赴任実費合計額 |
| | |

*単身赴任実費合計額の万円未満を切り上げて、スカラネット入力用紙の「P.7」項NO.4の金額欄に記入してください。

(例) 86,015円 → 90,000円

*提出された書類は返却しませんので、後日原本が必要(控除申請等)となるものは必ずコピーをお取りください。